

ICT 実践報告

指導形態：やってみよう（ひらがな学習）

授業のねらい

- ・文字カードを使って自分の名前を並び替えることができる。
- ・自分の名前をなぞり書きできる。

具体的な活用場面



- ・自分の名前で使われている平仮名と音を結びつけるため、アプリを使用した。（児童）

＊使用アプリ

「はじめてのひらがな」 販売元：Tomohito Mori

成果と課題

- ・操作する文字の方から音声が出るので、児童の視線の動きが最小限ですみ活動に集中できた。
- ・文字と音がつながり、パーソンカラーがなくても自分の名前が分かるようになった。